

安全データシート

飼料添加物

硫酸マンガン

飼料品質改善協議会

プレミックス研究会

作成年月日:2023 年 12 月 13 日

1. 化学品名及び会社情報

化学品の名称	硫酸マンガン
供給者の会社名称	MF フィード株式会社
住所及び電話番号	北海道苫小牧市真砂町 38 番地 5 TEL:0144-56-2102
用途	飼料または飼料添加物
使用上の注意	なし

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない

健康有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入）	区分に該当しない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分に該当しない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
	水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない
GHS ラベル要素		
絵表示またはシンボル		
注意喚起語	警告	
危険有害性情報	遺伝性疾患のおそれの疑い	
注意書き	【安全対策】 防じんマスクを着用することが好ましい。 安全眼鏡の着用。 保護手袋の着用。 保護衣の着用。 粉じんの飛散を防ぐ。 長時間または反復の暴露を避ける。 【応急措置】 眼に入った場合、先ず、数分間、多量の水で洗い流す（できればコンタクトレンズをはずす）。医師の診察を受ける。 皮膚に付着した場合、汚染された衣服を脱がせ、洗い流してから水と石けんで皮膚を洗浄する。	

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、安静を保つ（半座位）。医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合、口をすすぐ。医師の診察を受ける。

【保管】

乾燥した場所に保管する。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	硫酸マンガン（Ⅱ）一水和物
慣用名又は別名	硫酸マンガン
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS No. 10034-96-5
成分及び濃度又は濃度範囲	MnSO ₄ ・H ₂ O (MnSO ₄ :95.0%以上)
官報公示整理番号	1-477（化審法・安衛法）

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動し、安静を保つ（半座位）。医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服を脱がせ、洗い流してから水と石けんで皮膚を洗浄する。
眼に入った場合	まず、数分間、多量の水で洗い流す（できればコンタクトレンズをはずす）。医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	経口摂取の場合は口をすすぐ。医師の診察を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	急性症状 吸入：灼熱感、咳、息苦しさ、気管支炎、肺炎。 遅発性症状 皮膚：発赤、灼熱感、吸収される可能性がある。 眼：発赤、痛み、眼のかすみ。 経口摂取：胃痙攣、吐き気、咽頭痛。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	周辺の火災時：棒状注水以外は、すべての消火薬剤の使用
--------	----------------------------

	可。
使ってはならない消火剤	データなし
火災時の特有の危険有害性	火災時に刺激性あるいは有毒なフュームやガスを放出する。
特有の消火方法	<消火要領> 周辺火災の場合の処置は次による。 容器を安全な場所に移動する。 移動不可能な場合は、容器を破損しない様に注水し、冷却する。 周辺火災の消火に努める。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム長靴、防火服

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者の立入りを禁止する。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 風上に留まる。
環境に対する注意事項	データなし
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏洩物質を密閉可能な容器内に掃き入れ、安全な場所へ移す。湿らせてもよい場合は、粉じんを避けるために湿らせてから掃き入れる。残留分を多量の水で洗い流す。(特別個人用保護具:P2 有害粒子用フィルター付きマスク)

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	データなし
安全取扱注意事項	粉じんの飛散を防ぐ。長時間または反復の暴露を避ける。
保管	
安全な保管条件	乾燥した場所に保管する。
安全な容器包装材料	データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	Mn として 1 mg/m ³
許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）	ACGIH（2005 年度版）：TLV=TWA：5 mg/m ³ （Mn として） 日本産業衛生学会 勧告値：0.3 mg/m ³ （Mn として）
設備対策	＜安全管理・ガスの検知＞ 測定器・検知管 ＜貯蔵上の注意＞ 乾燥した場所に貯蔵する。 空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	データなし
手の保護具	保護手袋
眼、顔面の保護具	保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）
皮膚及び身体の保護具	保護衣
特別な注意事項	換気を行う

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	結晶または粉末
色	淡紅色または帯紅白色
臭い	無臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	不燃
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	39.3 g / 100 mL

n-オクタノール／水分	データなし
配係数 (log 値)	
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	加熱・燃焼に対して危険性あり
化学的安定性	データなし
危険有害反応可能性	850℃以上に加熱すると、分解し、腐食性のあるフューム（二酸化硫黄、三酸化硫黄、マンガン酸化物）を生成する。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	空気との接触に対しては危険性なし。混触などに関しては危険性なし。
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	データなし
経皮	データなし
吸入	データなし
(蒸気・粉じん・ミスト)	
皮膚腐食性／刺激性	皮膚に触れた場合、吸収される可能性あり。発赤、灼熱感。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	眼に入った場合、発赤、痛み、眼のかすみがある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	吸入した場合、灼熱感、咳、息苦しさがある。経口摂取した場合は胃痙攣、吐き気、咽頭痛がある。
生殖細胞変異原性	変異原性（微生物、染色体異常）： 微生物；酵母（-S9）；陽性 小核；マウス（生体内・経口）；陽性 染色体異常；ハムスター（生体外）；陽性
発がん性	データなし

生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境急性有害性：分類できない
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	水生環境慢性有害性：分類できない
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物), 当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で, かつ, 環境上望ましい廃棄, 又はリサイクルに関する情報	当該物質を水、酸の溶液または酸化して水溶性にする。この物質のサルファイド化沈殿をつくり、pH を 7 に調整して沈殿を完全にする。不溶物をろ過し、危険物処理場で処理する。
--	---

14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	非該当
国内規制がある場合の規制情報	非該当

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化学物質管理促進法 (PRTR 法)	第一種指定化学物質	マンガン及びその化合物
労働安全衛生法	第 57 条名称などを表示すべき対象物質 (表示対象物)	
毒物及び劇物取締法	非該当	
飼料安全法	飼料添加物 (硫酸マンガン)	

16. その他の情報

この安全データシートは、いくつかの安全データシートの情報を参考にして、飼料品質改善協議会 プレミックス研究会が作成したものです。すべての資料や文献を調査したわけではないため、情報に漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、別途、資料や文献を調査し検討されるか、試験によって確かめることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常取り扱いを想定しており、特殊な取り扱いの場合には、別途注意が必要になることをご配慮ください。

<引用文献>

- (独) 製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果 硫酸マンガン一水和物 ID963
- 安全衛生情報、GHS モデル MSDS 情報 (硫酸マンガン一水和物)
- 国立医薬品食品衛生研究所 国際化学物質安全性カード (WHO/IPCS/ILO)

<改訂履歴>

版	日付	内容
初版	2001 年 5 月 18 日	—
第 2 版	2008 年 6 月 27 日	GHS 対応
第 3 版	2015 年 12 月 4 日	文言修正など
第 4 版	2021 年 12 月 20 日	JIS 改正に合わせて改訂
第 5 版	2023 年 12 月 13 日	労働安全衛生法改正に合わせて改訂